

もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にこうよ!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

1

睦月

NO 282 / 2021

あけまして
おめでとう
ございます

contents

- ★新年の挨拶：山本理事長
..... 2
- ★例会案内「恵下山公園整備」
24日(日)：《担当1班》
..... 3
- ★新春《班長アンケート》
..... 4
- ★12月クラフト部会報告：本廣
里山部会報告：岩田
..... 5
- ★薪の販売しています！
：見勢井
2020年「TEAM 森づくり」
：山本
..... 6
- ★樹木いきいき講座：藤原
今月のひと枝：カラタチバナ
..... 7
- ★1月・各部の活動予定
あしがるクラブ・とんど開催
..... 8



「んもう〜」コロナはたくさんだ！クラフト部会力作の干支シリーズ《丑》

私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆中外工業株式会社
- ◆あいおいニッセイ同和損保株式会社
- ◆こだまクリニック
- ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆イオングループ
- ◆株式会社東和テクノロジー
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆湯来町 林クリニック

《毎年のご支援 誠にありがとうございます。協賛企業：順不同：敬称略》

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり** 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く** 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森を楽しみ森を味わう** 人と森との関わりを拡げます。
- 森から学び森を伝える** 森の恵みを活かし利用する活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に、活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



謹賀新年

～小さな成果を着実に積み重ね 多様な人たちが参加できる仕組みづくりを～

素敵な3K「気高く・輝き・カッコよく！」

NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 理事長 山本 恵由美



2020 年は
予期せぬコ
ロナウイル
スの脅威に
よって始ま
り、未だに世
界中が翻弄
され、混乱し
ている状況

が続いています。そんな試練の中で私たちもりメイト倶楽部 Hiroshima は、感染防止策を講じた上で自粛を最小限にし、森林の癒す力を借りて自宅に籠って不健康にならないよう体力面や精神面の健全化を優先し、出来る範囲で活動を展開してきました。

行政や企業等の事業の依頼は次々と中止や無期延期を余儀なくされ、諦めムードになっていた夏ごろ、密になる屋内や食べ物関連の事業の代わりに事業が舞い込み、下半期から空いている日程に詰め込まざるを得ない、忙しい状況となりました。

新たに広島市三滝少年自然の家では「キッズレンジャー」、広島市森林公園では「森の学校」も始まり、企画も担わせてもらっています。これも倶楽部が教育部門で実績を積み上げてきた評価の現れであると実感しています。

有史以来、取り組みたいと思う選択には、「ワクワクするような新たな活動」「社会変革をもたらすチャレンジになる」といった活動意欲が高まるものに着手することが大事だと考えてきました。

当時珍しかった里山文化の体現ができる場づくりや森林整備後の除伐材でのものづくり、そして全国に先駆けて子ども森林ボランティア養成講座等、未来を担う青少年の教育への参入。次々に可能性を開拓してきました。

市民活動はそれぞれのスタイルで自由に活動を進められる多様性に意味がある世界なので、独自の価値観で取り組むため、客観的な評価指標の設定が難しいと言われています。

「何を目標に、どんなことに価値があるのか」を意味づけるのも自由に決めていいので、その妥当性を判定することが困難という特性があります。当倶楽部の活動はどうでしょうか。

そんな活動の成果や効果を意識する努力も重要なことです。

今年は例会も部会も内容や仕組みの精査を行い、一歩前進的な中間目標を設定して「以前よりは改善している」といった小さな成果を着実に積み重ねて行きたいと考えています。

多様な人たちが参加できる仕組みづくりも倶楽部の未来像を築くのに必要なことです。

この件についても部会長や例会活動を支える班長とも連携強化を図り、共に進めて行きたいと思っています。

「泥は要らない、蓮の花だけが欲しいという。泥が無ければ花は咲かない（小林正観）」

今年もドロドロになりながら、素敵な3K「気高く・輝き・カッコよく！」を咲かせましょう！



案内



～新春 1 月例会～ 《担当：1 班》

恵下山公園整備

子ども達が楽しく遊べる安全で明るい公園に



◆日 時： 1月24日（第4日曜）9 時～少雨決行

◆集合場所： 恵下山公園 駐車場

※ 安佐北区落合三丁目、真亀三丁目

◆持参物： 山の道具・弁当・水筒

◆申込み： 1月17日（月）までに各班長へ連絡。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は
事務局へ電話かメールでご連絡下さい

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

恵下山とのかかわりは 2004 年から。当時、「ふるさと恵下山まもり隊」の平井代表が市の農林整備課に里山整備のノウハウについて相談をされた際に、もりメイト倶楽部を紹介されました。「自分たちの町は自分たちで守る！」という姿勢に感銘を受け、地域貢献例会として応援。森林整備の支援を行い今に至っています。

昨年、「ふるさと恵下山まもり隊」は活動が認められ名誉ある「ユネスコ奨励賞」を受賞されました。なお、今年度より平井代表から佐々木代表にバトンタッチとなりました。



新型コロナウイルス感染予防及び拡大防止のため、状況により例会を見合わせる事もあります。その際はご協力よろしくお願いたします。

新春アンケート 倶楽部の屋台骨《班長》登場

倶楽部の活動は例会が中心。それを支え、担っているのが班長です。計画から実施に到るまで連携を取りながらハンドルを握ります。今回は、アンケートを通じて人となりや抱負を伺いました。

① 羊

② 金木犀(匂いが好きです)、猫(家で飼ってます)

③ 好きな作業は伐採された樹をきれいに棚積みする事。
最近ではチェーンソーを操作すると直ぐに息切れするので体力を向上させたい。

④ 狐原山草刈り:7月《湯来》

⑤ 各部会の活動も大切だが、もりメイト倶楽部のメインの活動は例会であることを周知徹底する必要があると思います。

⑥ これからも長く例会に参加出来るよう、怪我をしない。病気になるない。



和田 学:1班

【アンケート】

- 1)干支はなんですか？
- 2)お好きな木や花、虫は？
- 3)得意(好きな)作業、挑戦は？
- 4)昨年の担当例会は？
- 5)取り組みで感じられた事は？
- 6)今年の抱負は？
- 7)その他、何でも。



① 羊

② 桜、カブトムシ

③ 炭づくり

④ キッズフィールド整備
:8月《松が原》

⑤ もう少し、全体の動きを管理
できるシステムを考えるべきでは？

⑥ 班員の技術レベルを上げて貰えるような場、機会を作る



北田 正仁:2班

① 巳年

② ウメ、カマキリ、メジロ

③ 特に無い(樹木いきいき講座執筆中)

④ 木馬道補修と木材運搬:6月《湯来》
11月黄金山見晴らし整備

⑤ 班長の役目「段取り八分に仕事二分」を
遂行していく。フォロー頼みます！

⑥ 技術の普及・蓄積

⑦ 例会の一部を使って希望者に伐採の
仕方、刃の研ぎ方などミニ講習会を随時行う。



藤原 満男:3班



① 午(うま)

② 沈丁花、梔子(くちなし)、金木犀。

③ 竹林整備(整備目標が描きやすい。変化した姿が分り易く、綺麗である)
挑戦する事は、伝える力を身に付けたい(其々、スキルアップ)

④ 9月《神ノ倉山整備》ハンカイソウの咲く丘であると共に四季を通じ山の美しさを標榜される
管理者の思いを倶楽部に継続支援したい。

⑤ 課題;安全作業+機器の手入れ(整備)+道具類の保管(出入)道具類の整備不良併せ、
持ち出し備品管理のあり方を検討する必要性を感じました。

作業終了後の整備時間に余裕を持たせ、当日持ち出した道具類は分り易く一覧表にし、使用前・後の管理者を指名する。

⑥ 一人でも多くのメンバーさんに参加していただき、我々の取り組みが継続出来るよう盛り上げたい。

⑦ コロナ禍が早く終息し何時もの生活、活動が出来ることを願っております。



① 巳年

② 桔梗、ヤマガラ、鈴虫

③ スクウスクウの森活・実行委員会交流事業:10月《妙國寺》

④ 木登り、刈り払い機による除草作業。

⑤ ヒヤリハットの認識が薄れている。(ヒヤリ、ハットの発表がなくなってきたのは、安全性が
確立されたからではなく認識が薄れてきているからと感ぜられる。)

⑥ 若い世代と新入会員の技術育成指導に力を入れたい。楽しみ！役に立つロープワークを伝授したい。

⑦ ヒヤリハットの報告は、言葉だけでは理解しにくいことから、必ず文章と図面で活動結果報告書に添付し、記録に
残すことが必要。使用資機材の記録簿を作成し搬出、返却の責任を明らかにする為、活動結果報告書に
添付し、報告することが必要。



冨田 実:4班



秋武 明:5班

寒風の中、梅やロウバイの芽が膨らみ、季節の変わりを感じます。
この1年はコロナ騒動で各種イベントが中止、延期となりました。

主な中止イベントは、《春のグリーンフェア、湯来狐原お花見イベント、山菜祭り（みどり会）、オイスカ（山・SUN・サン活動）、もみじ祭り（みどり会）》。

11月にはようやく広島市森林公園で「ひろしま森の市」開催されましたが、これからも益々予断を許さない状況が続きます。一人ひとりが自己防衛をするしかないようです。

12月13日（日）呉市どんぐり塾に参加し、森の手入れと木工クラフト指導を行いました。干支の牛に親子でチャレンジし、足の形や顔に個性が出てにぎやかなクラフトになりました。参加者46名。12月26日（土）児童デイサービス「ゆうゆう」木工クラフトに参加し、干支の牛を作りました。上記2事業の指導員は山本、見勢井、本廣で対応しました。今月の一般参加者55人、倶楽部会員参加者19人。



干支の牛にチャレンジ:どんぐり塾にて



木工クラフトの説明をする本廣部会長

里山部会開催前日、新型コロナウイルスの感染者の急増を受け、広島県の集中対策期間が始まりました。部会を開催するか悩みましたが、ソーシャルディスタンスを確保しつつ時間短縮で作業を行いました。参加者17名。

作業は少人数に別れ、小川フィールドの入口にある柿の木の伐倒、6月からの支障木伐採後の運搬、竹箒・熊手で落葉をかき集め温床枠にいれ、想定していた作業は全て終了しました。限られた時間の中で、皆テキ

パキと作業に取り組んで下さいました。

先月倶楽部に入会された吉村さんが里山部会に初参加。『とても気持ちのいい場所で、時間があればまた是非参加したいと思います』との感想をいただきました。

次回は1月10日に小川フィールドでの開催を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況を見据えながら開催出来るかどうかを決めたいと思います。



柿の木の伐倒準備



大量の落ち葉をかき集めました

薪の販売をしています！

2017年『かんぽ生命保険』さまからの寄付を受け、薪割機を購入しました。湯来町に実家がある友人の岡部忠行氏と話し合い「ナラ枯れ病」対策として実家裏山の雑木林整備を行い、薪づくりを始めました。湯来町の林クリニック（林和成先生）のご厚意によりクリニック前のプレハブ内で乾燥保管中です。続いて会員の山田隆康氏、天川等氏の山林の整備を行い、薪づくりを行いました。

薪を作る条件として伐倒しやすい、薪割機を搬入しやすい、割った薪を乾燥する場所がある事など作業をしてみると色々と制約が出て、薪づくり作業は想定以上に大変であるという事が判りました。

2020年1月、会員の井上さんのご厚意により「広島薪ストーブ愛好会」のコミュニティサイトに軽トラ荷台すり切り（約0,9立方メートル）15,000円、配達料は広島市内で2,000円、市外は要相談と告知して頂いたところ、3名から申込みがあり販売することができました。写真のとおり、2カ所で乾燥保管中の薪はナラとカシで殆どがコナラです。12月下旬時点での乾燥具合は7%~15%でよく乾いています。



購入希望の方は、倶楽部事務局【電話】090-6419-7531【Email】info@morimate-ch.com

迄ご連絡をお願いします。

《もりメイト倶楽部・薪活プロジェクト：見勢井 誠》



薪の乾燥具合は7~15%と良好！！薪の在庫(左)と保管状況(中)。軽トラ荷台の積載量は0,9m³。薪の種類はコナラが主。

報告

広島県主催事業に今年も参画

ひろしま森づくり事業「TEAM 森づくり2020」 山本恵由美

この事業に倶楽部が関わって3年目。

毎年場所を変え、その地域に合わせた特徴ある活動企画を作ってきました。今年度のコンセプトは、日本人が愛でる国花「桜」を基軸にして、広島の名所づくりを目的に森林整備を企画。広島市森林公園内の中世の山城が建つ「鷹の条山」を舞台に、桜の絶景で知られる奈良の吉野千本桜のように県民の手で桜が咲き誇る広島の名山にすることを目指し、既存の桜の保護と植樹、眺望改善も併せ、整備を3回実施。参加数は関係者を合せ延べ約200人。藪化した広範囲の森林がすっきり整理され見通しも改善。ノコだけで機械を使用せず、素人でも沢山の人力で大きな成果を上げることが出来ました。コロナ禍で最後の回が順延に。次回は記念植樹も行う予定です。



森の恵みと手入れの重要性を解説



頼れるスタッフの面々。右から本廣、見勢井、藤原秋武、小迫、岩田。活動企画は山本理事長

剪定時期について 主に花を楽しむ『花木』サツキやヒラドツツジなどは、花が散った直後が適期です。花芽が形成された後に剪定したら翌年の花は少なくなります。『落葉樹』は葉が落ちて全体の枝ぶりが見える12月から3月です。萌芽の早いウメ・カエデ・ヤナギなどは年内。寒さに弱いサルスベリ・ザクロなどは3月。『常緑の果樹』ミカン・ビワなどは新芽が出る前の2~3月。クス・カシ・クロガネモチなど『常緑広葉樹』は春4~6月。『針葉樹』は冬から3~4月が適期です。お客様の庭木を剪定する場合、年に一度ですから半分以上は適期になりません。

ナンテンは、茎の色・太さを見て古いのから地際で切り間引く。例えば大・中・小 3本残す。(真・対・添え)足元の葉をもいでスッキリさせます。よく見かけけるのですが、茎の上の方で切るとそこから2・3本に増え頭でつかちで曲がってしまうので、あくまでも地際で切ります。正月の生け花や門松に使う年末に剪定。

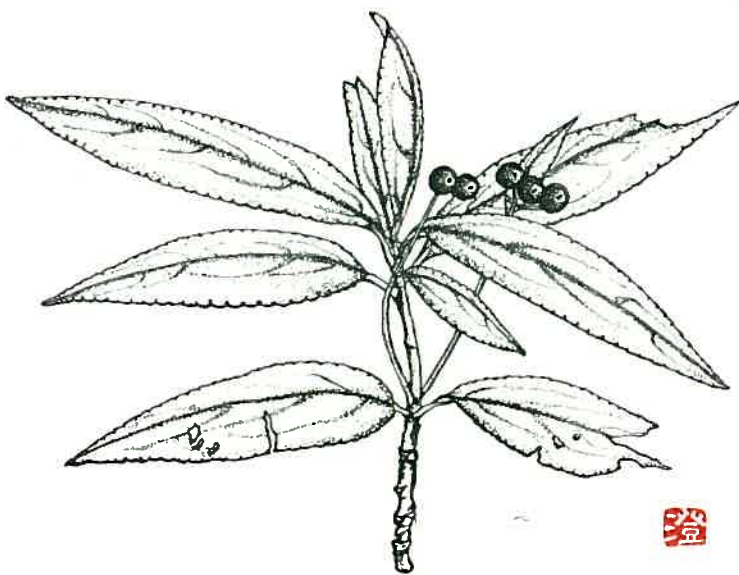
ロウバイは、毎年のように太いひこばえを伸ばすので、幹を1本にします。水平方向に近い枝を残し、その枝から上や下に出た枝を切り、横に出た枝は残します。幹から上に伸びた枝(胴吹き)も切ります。おおざっぱに幹は縦、枝は横です。剪定は、葉が落ちて花芽が付いた12月中旬。

※中心となる木を「真」それに対する木を「対」両者のバランスを取る木を「添え」。この3本を平面的にも立体的にも不等辺三角形になるようにする(石を据えるときにも)。真・対・添えについては、植木屋さんに動いているときに教わりました。これは石の置き方の基本だそうなのですが、3つ使って不均等な三角形を作るような配置で置くのです。



今あひこ枝

原田 澄



カラタチバナ (唐橘)

<サクラソウ科・ヤブコウジ属>

日本原産の常緑小低木。東北部から沖縄に自生または野生化しており個体数は少ない。幹はまっすぐで分枝せず、高さは約30センチ。葉は光沢があり鮮やかな緑色。マンリョウに似るが葉は細長く、長さ8~20センチ、幅1.5~4センチで無毛。7月頃に白い小さな花を付け、実は11月頃に赤く熟す。実は6~7ミリの球形で翌年の4月頃まで残り、園芸品種も多く鉢植えや庭木に利用される。名は、ある説によると真っ赤な実を付ける姿が「唐」に自生しているミカン科の「橘」に似ていた事から。別名ヒヤクリョウ。...

▼近くの林の中で、点在するヤブコウジに交じり、ひととき美しい赤い実を付けた植物を見つけた。調べると、それはカラタチバナだった。▼昔から、マンリョウ(万両)、センリョウ(千両)、カラタチバナ(百両)、ヤブコウジ(十両)は縁起の良い植物に数えられている。▼縁起物のカラタチバナに、この時期偶然にも出会い、嬉しかった。小さいながら凛としてすくと立っている姿が素敵に思えた。眺めていると、なんだか力が湧いて来るような、そんな思いがした。

~佐伯区湯来町 2020・12月~



—1月— 活動の予定

～皆様の参加お待ちしております～

- 30日(土) リョウブ伐採運搬(湯来町)
- 材料づくり【松が原に設置する柱材加工】
: 安佐南区山本町鹿ヶ谷
- 9日(土)、16日(土)、23日(土)
- 連絡先: 本廣 090-4141-8603

クラフト
部会

- 日時: 1月10日(日) 9時～
- 場所: 「小川フィールド」
安佐北区白木町中三田地区
- 作業: 倉庫の棚卸し・チェーンソー製材
- 持参品: 水筒・弁当・山の道具・弁当
- 連絡先: 岩田 080-5751-3798

里山部会

環研
部会

- 日時: 1月11日(月・祝) 9時30分～
- 場所: 松が原キッズフィールド
現地フィールドを確認しながら今年度の計画を確認します。関心のある方はご一報を!
- 連絡先: 佐々木 綾子
mamakin0404@yahoo.co.jp

いずれの部会も、新型コロナの感染状況を見据えながら開催を決めていきますので、参加される方は各連絡先までお問い合わせください。

2月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。

- 日時: 2月3日(水) 18:00～20:00
- 場所: 市民交流プラザ3F

おしらせ



あしがりボランティア募集&干潟でとんど

～「とんど」の準備で干潟の葦(アシ)を刈ります～

- 日時: 1月10日(日) 10:00～12:00 ごろ
- 持参物: 飲み物・軍手・帽子・マスク・作業の服装で。
- 申し込みが必要です

～干潟で「とんど」をみんなで作ります!～

- 日時: 1月23日(土) 9:30～12:00 ごろ(雨天中止)
- 持参物: マスク※燃やせない物は外してください。
- 申し込み不要

★★★会場: 白潮公園(白島九軒町・ダイキ白島店裏)★★★

問い合わせ: 中央公民館《☎221-5943》【主催: 京橋かいわいあしがるクラブ他】



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って人工林の間伐や都市公園の除伐整備など地域の人と一緒に活動を展開しています。また、会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用したクラフトの作成指導なども行っています。私たちの活動に共感、賛同して頂ける方のご寄付または会員として活動して頂ける方を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】 : 倶楽部の目的に賛同して積極的に活動するために入会した個人及び団体。
- 【賛助会員】 : 倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】 : 3,000 円
- 【企業会費】 : 50,000 円

お申込み方法

- 下記まで電話、又はメールで
- 【電話】 090-6419-7531
- 【Email】 info@morimate-ch.com

会費・ご寄付の振込先

- 【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3
- 【ゆうちょ銀行】 1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1
- 《口座名: 特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》